

『宮村一夫 名誉教授講演会』

日時：令和5年11月19日（日）、14時～15時半

場所：富山電気ビルディング 4階8号室

略歴

- 1979年（昭和54年）－ 東京大学工学部合成化学科卒業
- 1981年（昭和56年）－ 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了
- 1982年（昭和57年）－ 同博士課程中退、東京大学助手
- 1991年（平成3年）－ 東京大学講師
- 1998年（平成10年）－ 東京理科大学助教授
- 2004年（平成16年）－ 東京理科大学教授（理学部第一部化学科）
- 2015年（平成27年）－ 東京理科大学理学部長（-2017年）
- 2022年（令和4年）－ 日本化学会理事（-2024年）
- 2023年（令和5年）－ 東京理科大学名誉教授

研究分野

物理化学、無機化学、分析化学、錯体化学



宮村一夫 名誉教授

宮村先生は1956年東京生まれ。幼少期は米国・英国で生活。中学3年次に日本へ帰国。成蹊中学校に編入、成蹊高校卒業後、東京大学理科I類へ進学。大学時代に鉄道旅にはまったそうです。

鉄道の旅は「計画を立てるのが一番の楽しみ」、鉄道の旅を続けるのは「そこに線路があるから」と話す「てっちゃん先生」。東京理科大学に赴任後、研究の合間を縫って1988年にJR全線、2011年に私鉄全線の完全乗車（いわゆる完乗）を達成。全国通訳案内士という超難関資格も取得。2014年4月より現在まで、NHK「ラジオ深夜便」の「旅の達人 全国鉄道紀行」に出演。2021年8月に「『乗り鉄』教授のとことん鉄道旅」を出版するなど精力的に活動されています。

知る人ぞ知る鉄道マニアの宮村先生に、鉄道旅の魅力についてお話いただきます。ぜひご参加ください！

